

10月のクラフトの定例会は材料収集でした。  
 今年は甘樫丘で実施しました。

## 甘樫丘のご案内

～ 甘樫丘の見どころを飛鳥里山クラブがご案内します～

### 甘樫丘で見られる野鳥について

コゲラ、イカル、メジロは、甘樫丘で見られる野鳥です。甘樫丘は、自然豊かな環境で、多くの野鳥がすみかとしています。甘樫丘の野鳥は、それぞれの特徴があり、観察し楽しむことができます。

【コゲラ】：ツツキ目ツツキ科の鳥です。全長約15cm、スズメとほぼ同じ大きさで、日本に生息するツツキとしては最も小さい鳥です。食性は雑食で、主に昆虫などの節足動物を食べ、枯れ木や生きた木の枯れ枝などに毎年新しく穴を掘り、巣穴にします。

【イカル】：真ん中の写真はスズメ目アトリ科の鳥で大きな黄色い嘴が特徴です。主に木の上で生活しますが、地上で堅い木の実や草の実を食べる時もあります。甘樫丘の川原展望台の北側でもよく見られ、「キーキー」と鳴くさえずりが非常にきれいな鳥です。

【メジロ】：右の写真はスズメ目メジロ科の鳥です。全長約12cm、スズメよりも小さく、緑がかった体と目の周りの白い輪が特徴で、名前の由来ともなっています。メジロは梅の花蜜を好み、早春には梅の花を求めて集まって来て、ウグイスと間違えられることもあります。





『飛鳥里山クラブ』は、国営飛鳥歴史公園のボランティアです。ここ甘樫丘での里山づくり活動を行う「里山づくり隊」を始め、「園芸」「クラフト」「自然観察」「文化」「野鳥」「野外活動」「歴史」の7つにサークルや「写真同好会」など、個人の得意分野や趣味を活かしながら、飛鳥の魅力を伝える活動をしています。

案内版には下記のような案内が季節ごとに掲示されています。今は野鳥

## 甘樫丘で見られる野鳥について

コゲラ（左の写真）はキツツキ目キツツキ科に分類される留鳥。全長約15cm、スズメと同じくこの大きさで、日本に生息するキツツキとしては最も小さい鳥です。食性は雑食で、主に昆虫などの節足動物を食べ、枯れ木や生きた木の枯れ枝などに毎年新しく穴を掘り、巣穴にします。

イカル（真ん中の写真）はスズメ目アトリ科の留鳥で大きな黄色い嘴が特徴です。主に木の上で生活しますが、地上で堅い木の実や草の実を食べる時もあります。甘樫丘の川原展望台の北側でもよく見られ、「キーキー」と鳴くさえずりが非常にきれいな鳥です。

メジロ（右の写真）はスズメ目メジロ科の鳥です。全長約12cm、スズメよりも小さく、緑がかった体と目の周りの白い輪が特徴で、名前の由来ともなっています。メジロは梅の花蜜を好み、早春には梅の花を求めて集まって来て、ウグイスと間違えられることもあります。



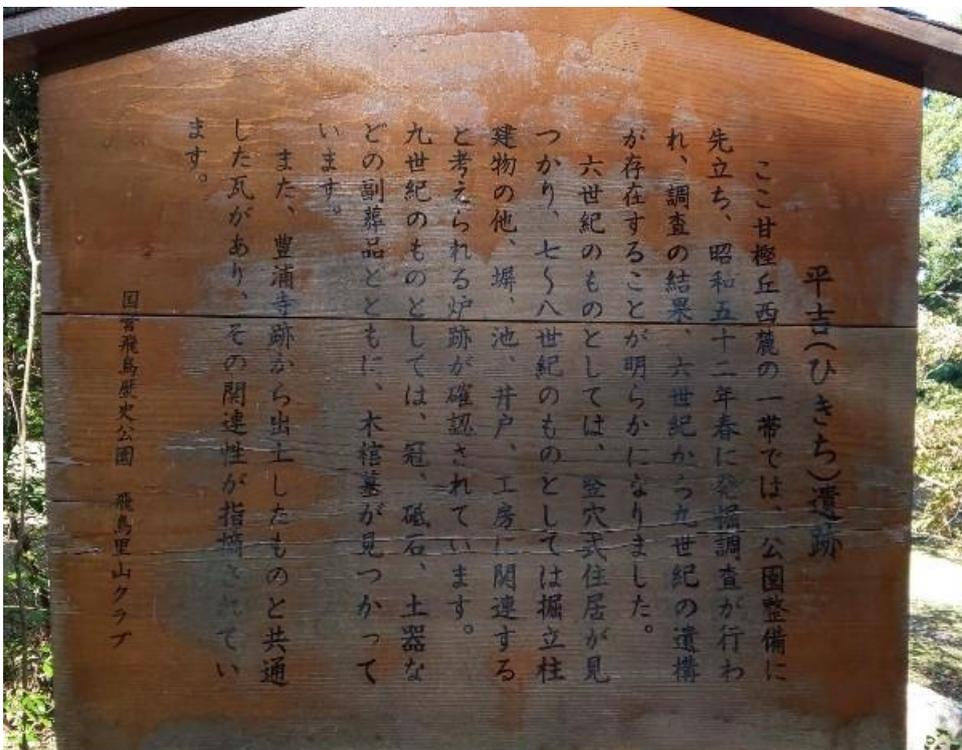




さてクラフトメンバーが集まったので収集開始、手に袋を持って出発



少し坂を上ったところにこんな看板があります。



そのすぐ後ろに芝生広場があります。

広場の回りには大きな木が沢山あります、



その枝先を見ると木の実がありました。まだ緑ですね



下には昨年の木のみの中に新しい木の実もありますがまだ少ないですね。  
そのそばにある机の上に乗せてみました。  
シラシカかな、ドングリの先にはっきりした輪になったくぼみがあります。



この日は天気も良くて気持ちよかったです。



こんな案内板がありました。これは豊浦休憩所の近くにクイズ形式の紙の問題の解答です。これをしながら園路を歩くと色んな植物に出会えますよ。

## 万葉の植物園路・回答一覧

植物番号	植物名	科名	植物番号	植物名	科名	植物番号	植物名	科名
1	げやき	にれ科	18	こなら	ふな科	35	ひさかき	つばき科
2	しきみ	しきみ科	19	すだじい(しい)	ふな科	36	かなめもち	ばら科
3	あらかし(かし)	ふな科	20	しらかし(かし)	ふな科	37	うつぎ	ゆきのした科
4	ゆずりは	ゆずりは科	21	むくのき	にれ科	38	にわたこ	すいかずら科
5	えこのき	えこのき科	22	ねむのき	まめ科	39	かつら	かつら科
6	やまぶき	ばら科	23	すもも	ばら科	40	えのき	にれ科
7	しだれやなぎ(やなぎ)	やなぎ科	24	いちいがし(かし)	ふな科			
8	あせび	つつじ科	25	いぬまき(まき)	まき科			
9	すぎ	すぎ科	26	しゃしゃんぼ	つつじ科			
10	ひのき	ひのき科	27	つげ	つげ科			
11	あじさい	ゆきのした科	28	くちなし	あかぬ科			
12	くすのき	くすのき科	29	みつまた	じんちようげ科			
13	くぬぎ	ふな科	30	ねこやなぎ(やなぎ)	やなぎ科			
14	まゆみ	にしきぎ科	31	やぶつばき(つばき)	つばき科			
15	あかめがしわ	とうだいぐさ科	32	かしわ	ふな科			
16	くるまつ(まつ)	まつ科	33	ぬるで	うるし科			
17	あき(にれ)	にれ科	34	さかき	つばき科			

### 採点上の注意

1、万葉植物等の解釈については、「古典植物辞典」他を参考とし、今名については「牧野新日本植物図鑑」によりました。  
なお出典は「日本古典文学大系」によりました。

2、1問1点とし、( )内の俗称または総称も正解とします。

これもまだ青くて落ちていませんね。



おや丸い実があります。これはクヌギですね。



これは園路にある休憩所のそばでした。



園路のそばには花もありました。





落ち葉の下にはキノコ

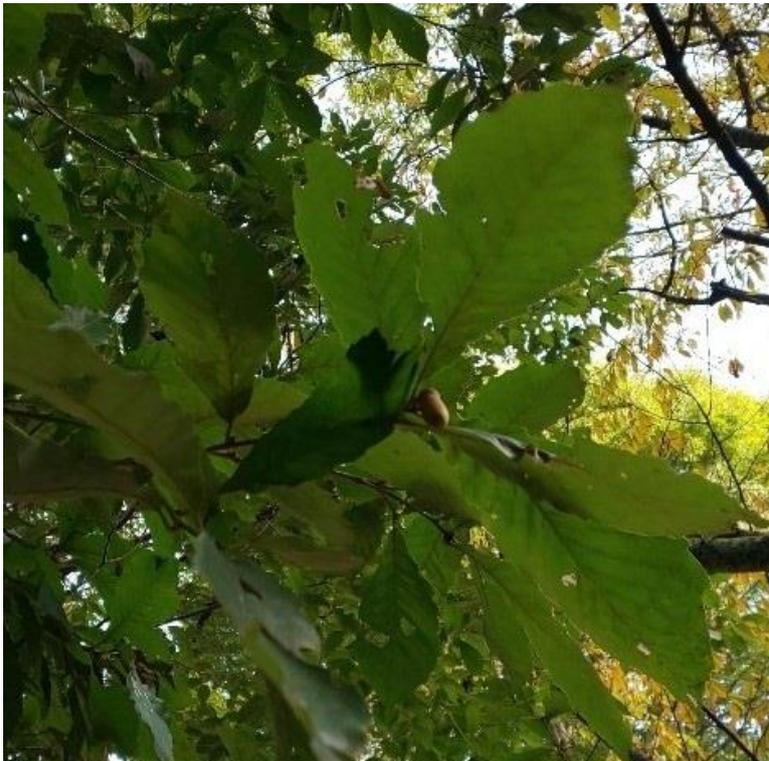




こんな風にこの甘樫丘には色んな植物があります。



ナラガシワかな





おや、足で何か踏んでから拾っています。そう栗です。  
ごらんのとおり少しありました。



この写真の下の方にあるのは桐の実です。



これはこのように高枝ハサミで取りました。



さあ昼食の後、飛鳥歴史公園館に戻って仕分けです。





右の写真に栗のいがも見えますね。  
こんな風にして私たちクラフトサークル員  
は材料を集めて皆さんにクラフト体験をし  
てもらえるようにしています。  
早くコロナを気にせずみなさんとお会いし  
たいです。

